TOTOTIC TOTOTIC TOTOTIC TOTOTIC TOTOTIC

奈良県感染症情報

令和元年 第 41 週(10月7日~10月13日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

http://www.pref.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

今週の概要

~インフルエンザに感染しないために~

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	芬	良県	-1レ立7	中部	克 如	
位	大忠石 	定点当たり	(前週)	増減	北部	무매	南部
1	RS ウイルス感染症	3.53	(4.29)	7	4	4	7
2	感染性胃腸炎	3.41	(3.94)	→	→	7	↑
3	A群溶連菌咽頭炎	2.03	(1.50)	↑	7	1	^
4	手足口病	0.85	(0.53)	→	→	→	4
5	咽頭結膜熱	0.59	(0.56)	1	^	→	•

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、ブやや増加、→横ばい、→やや減少、
・・減少

♦県内概況 ♦

RSウイルス感染症が引き続き流行しており、特に中和保健所管内で多くなっています。

また、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増加しています。例年、11 月から 12 月に患者の報告数が増加するため、今後の流行状況に注意してください。

インフルエンザの定点医療機関からの報告数はまだ多くありませんが、奈良市保健所、中和保健所管内で集団感染が発生しています。保健研究センターで検査を行った結果、AH1pdm09型を検出しています。インフルエンザは、小児では急性脳症、高齢者や免疫の低下している方では肺炎等で重症化することがあり、注意が必要です。

こまめな手洗いや咳エチケット、規則正しい生活をこころがけ、感染予防に努めましょう。

~インフルエンザに感染しないために~

◆ 咳エチケット

- ✓ 咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて 1m以上離れましょう。
- ✓ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
- ✓ 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

◆ 流行前の予防接種

✓ インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える 効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患 のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が 高いと考えられます。

◆ 感染防止対策

- ✓ 外出後の手洗い等
- ✓ 適度な湿度の保持
- ✓ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ✓ 人混みや繁華街への外出を控える

出典:首相官邸ホームページ

https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/influenza.html 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html

❖定点把握感染症報告状況❖

		11/	部	<u></u>	部	南部			
	奈良県			_					
保健所別報告数		奈良市	, F	中和(東)			1		
インフルエンザ定点数	<i>55</i>	14	14	11	10	2	4		
インフルエンザ	/ (0.10)	2	(0.07)				4		
小月刊中上米		(0.14)		7	6	- 1	(1.00)		
小児科定点数	<i>34</i>	<i>9</i>	<i>9</i>	22	63	1	<u>2</u> 4		
RSウイルス感染症	. — -	(2.22)					(2.00)		
	20	(2.22)	13	(3.14)	5		(2.00)		
咽頭結膜熱		(0.11)		(0.14)	_				
	69	6	16	26	17	2	2		
A群溶連菌咽頭炎	(2.03)	_			. ,	_	_		
	116	21	28	14	47	4	2		
感染性胃腸炎		(2.33)				-	_		
1. 4	3	2.00)	1	(2.00)	(7.00)	(1.00)	(1.00)		
水痘	(0.09)	(0.22)	(0.11)						
700¢	29	11	5	12	1				
手足口病		(1.22)	_						
/= 2+ Jul 6+ TiT	14	7	3	1	2		1		
伝染性紅斑	(0.41)	(0.78)	_	(0.14)	_		(0.50)		
тт эм I4 эм I /	13	5		3	4		1		
突発性発しん		(0.56)		(0.43)	(0.67)		(0.50)		
ال السادي ال	5	2	1	1	(,		1		
ヘルパンギーナ	(0.15)	(0.22)	(0.11)	(0.14)			(0.50)		
流行性耳下腺炎	1		1						
流行性耳下脉炎	(0.03)		(0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0		
急性出血性結膜炎						/	/		
心口血口和决久									
流行性角結膜炎	6	3	2	1					
		(1.00)	(0.67)	(0.50)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1		
細菌性髄膜炎									
	1			1					
無菌性髄膜炎	(0.17)			(1.00)		\			
マイコプラズマ肺炎	1			·	1				
	(0.17)				(1.00)				
クラミジア肺炎						_			
感染性胃腸炎									
(ロタウイルス)									

令和 1 年 第 41 週 10 月 7 日 ~ 13 日

❖全数把握感染症報告状況❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(中和1) 梅毒3件(郡山1、中和2)

◆第41週のトピックス◆

◆国立感染症研究所: 水痘ワクチン定期接種化後の水痘発生動向 の変化 ~感染症発生動向調査より・2019年第37週時点~

https://www.niid.go.jp/niid/ja/varicella-m/varicella-idwrs/9159varicella-20171021.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段:報告数

(下段):定点当たり報告数 報告数÷定点数

在松则起生粉

年齢別報告数																							
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女								1	1			3		1							4 3	5687 5898
年齡区分		0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-							合計	累計
RSウイルス感染症	男女	5 8	4 5	30 16	7 14	8 10	4 6	1	2													59 61	849 739
咽頭結膜熱	男女		1 1	3 4	2 2	1		3 1		1		1										9 11	398 273
A群溶連菌咽頭炎	男女			2	2	7 1	7 6	9	2 5	2 5		2	2	1	1							38 31	1347 1025
感染性胃腸炎	男女	1	8 2	7 8	7 8	9 1	6 9	5 2	2	2		2	5 2	1 4	_							59 57	
水痘	男女								1	1			1									2 1	197 136
手足口病	男女		1 2	6 4	2 2	3 4	1	1		1		1		1								16 13	1399
伝染性紅斑	男女			1		1 2	1 1	1 2	1	1		1 1										6 8	269 253
突発性発しん	男女		3	3 2	1																	7 6	304 234
ヘルパンギーナ	男女				1 3		1															1 4	423 395
流行性耳下腺炎	男女											1										1	39 37
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		合計	累計
急性出血性結膜炎	男女																						
流行性角結膜炎	男女				1			1		1			1					1	1			3 3	131 121
年齡区分		0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男女																						9 6
無菌性髄膜炎	男女											1										1	12 9
マイコプラズマ肺炎	男女				1																	1	25 30
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						46 35

❖注目疾患の動向❖全て定点当たり報告数

















